

コロナの感染状況が 第七波の襲来か!?と、再び拡大傾向にあるようで 心配です。保育園でも 先月末、幼児クラスに陽性者が確認されましたが、前回の経験を活かし 皆で迅速な対応に努めながら 各ご家庭のご協力を頂きまして、拡がることなく無事 今週火曜日にはまた 元気な笑顔が揃いました。心配して快復を願い 祈っていた分、いつも通りの 賑やかな保育園生活に戻ることが出来た喜びは 一層大きかったです。これからもまだしばらくは 安心できない状況が続いていくことを 痛感させられた 7月のスタートとなりましたが、コロナ禍に在る生活の様々なマナーやルール等を守ることは お互いの命を大切にしようことなのだと、今一度 その意識をしっかりと 育み合えるよう 子ども達と共に園生活をしっかり見直していこうと思っています。

さて、毎年6月は、前年度の保育園運営について 事業報告と決算報告がなされる 当法人の理事会と評議員会が 開催されます。ここ3年間は コロナの状況を考慮し 残念ながら“書面表決”が続いていましたが、先月4日、対面での審議で理事会を ようやく行うことが出来、直接 顔を合わせることで、同じ空間で言葉を交わしながら 物事を伝え合い 分かち合う その皮膚感覚の重要性を 改めて実感し 感謝しました。けれども その直後からの不安な感染状況を鑑み、評議員会の対面開催は諦めました。現在 評議員を務めてくださっている方々は、つのぶえ保育園の 元理事や 元保護者、卒園生、元保護者会会長、また、元 公立保育園の園長や 小学校教諭等のお立場にある皆様ですが、何よりも心強いのは、つのぶえのことをよく知っていてくださり 子ども達や職員のために 日々 祈ってくださり、いつでも つのぶえを大切に愛して 支えてくださっていることです。評議員会が書面開催で、資料のやり取りが続く中、コロナ禍の保育園を心配し、祈り、励ましてくださるご連絡を 幾度も頂きました。直接 お会いできた理事・監事の方々との喜びや安心を感じられた時間と感謝、逆に それを叶えることが出来ず 想いを交わし合い感じられた評議員の方々との心の絆、両方とも 人として生きる上に 大切に必要なものなのだと気付かされた6月でした。

今回、その評議員会の書面審議完了の際に頂いた書類に同封された 温かなお手紙に 私達は 大人として 保育者として 改めて 確かな示唆と大きな力を与えられました。銚子教会 牧師の 米澤講治評議員からのメッセージです。感謝と共にご紹介します。

「この一年も コロナの事で 大変な日々でしたね。

続いてお祈りしています。

園児の 一日を 守ることは

園児の 未来を 守ること。

園児の 未来を 守ることは

この国の 将来を 守ること。

戦争のない、差別のない 社会を 造ることなのです。」

先週末に起きた 日本国中が震撼した 悲しく惨い衝撃的な事件を胸に刻みながら “人として在るべき姿”に 真摯に向き合い、子ども達の心の育みを何よりも大切に 民主主義社会に共に生きる者として その意味の重さを問い直しつつ 祈りを込めて 伝えていく使命を想い、職員一同 神様への祈りを 新たにしました。 (石田 記)

「私達は神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。(エペソ2:10)」